

平成 21 年度事業報告

I. 学術集会, 講演会, シンポジウムの開催

- (1) 日本心理学会第 73 回大会
期日 平成 21 年 8 月 26 日 (水)–28 日 (金)
会場 立命館大学衣笠キャンパス
主催校 立命館大学 (大会会長 吉田 甫教授)
- (2) 公開シンポジウム 赤ちゃんの謎に迫る
 - (a) 期日 平成 21 年 10 月 25 日 (日)
会場 科学技術館サイエンスホール
 - (b) 期日 平成 22 年 1 月 31 日 (日)
会場 東北大学川内北キャンパス内マルチメディア教育研究棟 マルチメディアホール M206

II. 学会誌等の刊行

- (1) 機関誌“心理学研究”第 80 巻第 1 号–第 6 号を刊行した。
- (2) 機関誌“Japanese Psychological Research” Vol. 51, No. 2–No. 4, Vol. 52, No. 1, 50th ANNIVERSARY INDEX を刊行した。
- (3) 会誌“心理学ワールド”第 45 号–第 48 号を刊行した。

III. 研究業績の表彰と研究の奨励

- (1) 社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考
平成 20 年度刊行の“心理学研究”および“Japanese Psychological Research” (特集号を除く) 掲載の原著論文のうちから選考委員会において受賞論文を決定し, 第 73 回大会会員集会時に授与式を行った。

〈優秀論文賞〉

- (a) 縦断勾配錯視——周囲視環境と床の傾斜効果——
著者 對梨 成一 (立命館大学)
掲載 心理学研究第 79 巻第 2 号
 - (b) ネガティブな体験の肯定的な語り直しによる自伝的記憶の変容
著者 池田 和浩・仁平 義明 (東北大学)
掲載 心理学研究第 79 巻第 6 号
 - (c) Misconvergence to the stimulus plane causes apparent displacement of the stimulus elements seen monocularly
著者 中溝 幸夫 (北九州市立大学)・川畑 秀明 (鹿児島大学)・Ono, Hiroshi (York University)
掲載 Japanese Psychological Research Vol. 50 No. 1
 - (d) Effects of stimulus eccentricity on vection reevaluated with a binocularly defined depth
著者 中村 信次 (日本福祉大学)
掲載 Japanese Psychological Research Vol. 50 No. 2
- (2) 社団法人日本心理学会優秀論文賞の授与
受賞論文に対して, 研究奨励金を授与した。

IV. 国際的活動の表彰

- (1) 社団法人日本心理学会国際賞の選考
国際賞選考委員会にて, 国際賞授賞者を選考し, 第 73 回大会会員集会時に授与式を行った。

〈国際賞〉

奨励賞

河原 純一郎（（独行）産業技術総合研究所）

坂本 真士（日本大学）

月浦 崇（東北大学加齢医学研究所）

筒井 健一郎（東北大学）

- (2) 社団法人日本心理学会国際賞の授与
受賞者に対して、賞金と記念品を授与した。

V. 資格の認定

- (1) 社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与

平成 22 年 3 月 31 日現在、総件数 3,692 件を審査し、3,382 名を合格、105 名を不合格、205 名を保留とした。

必要な手続を経て資格を取得した者は 3,401 名であった。

- (2) 社団法人日本心理学会認定心理士研修会

- (a) 第 73 回大会時に認定心理士向けシンポジウムを開催した。

テーマ 表情認知研究の最前線——認知・生理・障害・臨床——

日時 平成 21 年 8 月 27 日（木）

場所 立命館大学 敬学館

- (b) 認定心理士研修小委員会を立ち上げ、研修会を実施した。

テーマ リラクゼーション療法の実践

日時 平成 21 年 12 月 5 日（土）

場所 天神ビル会議室（福岡）

VI. 学会業務の電子化とその促進

- (1) 機関誌投稿編集業務の電子化

投稿・編集電子化システムによる論文の投稿受付を行った。

- (2) その他の学会業務の電子化

会員・認定心理士への Eメールによる学会情報の配信を行った。

VII. 関連学術団体等との連絡および協力

- (1) 国際心理科学連合

分担金を支払った。

- (2) 国際テスト委員会

分担金を支払った。

- (3) 日本心理学諸学会連合

本会から 3 名、理事として参加している。

会費および認定心理士承認料を支払った。

- (4) 日本認定心理士会

協力金を支払った。

VIII. 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

- (1) 各種委員会の開催

常置委員会にて所管事項を審議した。

- (2) 研究集会等への支援

15 件の研究集会等助成を行った。

- (3) 公益法人法改正への対応

公益法人制度改革関連三法の施行（平成 20 年 12 月 1 日）に伴い、新公益法人申請について検討した。

- (4) その他

会員の異動状況報告書

会員の種別	会 員 数		増 減 数	備 考
	前年度末 平成 21 年 3 月 31 日現在	本年度末 平成 22 年 3 月 31 日現在		
正 会 員	7,083 名	7,106 名	23 増	
賛助会員	17	15	2 減	
名誉会員	34	34	0	
特別会員	0	0	0	
終身会員	193	201	8 増	
計	7,327	7,356	29 増	

社員の異動状況報告書

	社 員 数		増 減 数	備 考
	前年度末 平成 21 年 3 月 31 日現在	本年度末 平成 22 年 3 月 31 日現在		
社員	283 名	277 名	6 減	
計	283	277	6 減	

認定心理士審査件数および取得者年数（年度別）

年度		初回審査	総審査数	認定可	取得者	取得者累計	備考
H2	1990	86	86	82	82	82	1991.3.31
H3	1991	222	241	214	207	289	1992.3.31
H4	1992	210	233	192	196	485	1993.3.31
H5	1993	244	267	222	218	703	1994.3.31
H6	1994	314	338	289	283	986	1995.3.31
H7	1995	434	484	415	409	1,395	1996.3.31
H8	1996	558	604	521	472	1,867	1997.3.31
H9	1997	649	714	604	614	2,481	1998.3.31
H10	1998	656	719	620	643	3,124	1999.3.31
H11	1999	886	982	873	839	3,963	2000.3.31
H12	2000	1,090	1,141	1,040	1,032	4,995	2001.3.31
H13	2001	1,481	1,626	1,438	1,433	6,428	2002.3.31
H14	2002	1,677	1,717	1,582	1,579	8,007	2003.3.31
H15	2003	2,119	2,179	2,027	1,987	9,994	2004.3.31
H16	2004	2,920	2,961	2,822	2,770	12,764	2005.3.31
H17	2005	3,274	3,352	3,140	3,074	15,838	2006.3.31
H18	2006	3,800	3,864	3,679	3,609	19,447	2007.3.31
H19	2007	3,731	3,841	3,596	3,536	22,983	2008.3.31
H20	2008	3,792	3,882	3,632	3,620	26,603	2009.3.31
H21	2009	3,565	3,692	3,382	3,401	30,004	2010.3.31